

臨床検査専門科目	形態検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	血液検査学Ⅱ（病態・形態診断）					
担当教員	○堀江 修 増谷 弘 下村大樹 松尾収二					
目的	血液疾患の診断に必要な血液検査に関する基礎知識と技術を修得するとともに、最新の知見を学ぶ。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> 血液疾患と医学検査との関わりを理解する能力を養うことにより診断・治療がどのように行われているか説明できる。 血液検査学Ⅰにて学習した基礎的・専門的知識を用い、血液疾患の診断・治療の実際を説明できる。 					
他科目との関連	血液検査学実習、血液検査学Ⅰ（生理・分析技術）、輸血・移植検査学、免疫検査学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験点数				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座 血液検査学（医歯薬出版）					
参考資料	標準臨床検査学 血液検査学 医学書院 病気がみえるVol.5 血液 メディックメディア 新・病態生理でできた内科5 血液疾患（第3版）医学教育出版社					
備考 （受講上注意、事前学習等）	事前学習は必須であり、事後学習はEラーニング内のテスト問題を実施する。					